

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模		経営・技術の特徴
露地野菜専業経営 IV	3人	ばれいしょ春作マルチ	a 80	1. ばれいしょ ・機械化、無人ヘリ・ドローン防除(外部委託)で省力化を図りながら、ニシユタカ(春普通)・さんじゅう丸の利用で、目標収量を春作3.4t/10a以上を目指す。 2. レタス ・半自動移植機を利用し、省力化を図る。
		レタス年内どり	200	
		レタス年明けどり	400	
		計	680	
		経営耕地面積	水田 110 畑 (借地) 570 (420)	
経営目標	1 農業総収入	49,001 千円	4 1日当たり農業所得	11,114 円
	2 農業経営費	42,638 千円	5 1人当たり年間労働時間	1,527 時間
	3 農業所得	6,363 千円		

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有割合	取得価格	耐用年数	年間償却額
					千円		千円
建物・施設	作業及び収納舎	1	軽量鉄骨 60㎡	1	5,671	24	236
	農具舎	1	軽量鉄骨 30㎡	1	2,835	24	118
	ビニールハウス(浴光処理用)	1	AP単棟ハウス:100㎡(本体のみ)	1	497	10	25
	ビニールハウス(育苗用)	1	AP単棟ハウス:100㎡(本体のみ)	1	497	10	25
	計				9,499		404
農機具	トラクター	1	30PS、140cm幅ロータリー装着	1	2,128	7	152
	管理機	1	6.2PS	1	278	7	20
	動力噴霧機	1	可搬式5PS、防除タンク500L	1	184	7	13
	トラック	1	1.5tトラック	1	3,544	5	354
	運搬車	1	リフトダンプ(600kg・6.2PS)	1	535	7	38
	堆肥散布機	1	1100kg・乗トラけん引	1	779	7	56
	土壌消毒機	1	ティラーけん引・2条	1	87	7	6
	植付け機(ばれいしょ)	1	歩行型:施肥ホッパー付	1	194	7	14
	マルチャー(ばれいしょ)	1	自走式・歩行型	1	167	7	12
	掘取機(ばれいしょ)	1	歩行型5PS	1	164	7	12
	茎葉処理機(ばれいしょ)	1	3.1~4.0PS	1	527	7	38
	半自動移植機(レタス)	1		1	941	7	67
ピッカー(ばれいしょ)	1		1	3,745	7	268	
	計				13,271		1,049

3. 技術体系(ばれいしょ春作マルチ)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
種いも処理	種いも選別 種いも消毒 浴光育芽 種いも切断	12月～1月	トラック	2	6	12	種いも量 240kg 殺菌剤 防除桶 ハウス コンテナ・トロ箱 包丁	・種いもは検査に合格したものを使用する。シストセンチュウ発生地域では、抵抗性品種の導入により蔓延防止に努める。 ・消毒は未萌芽のいもを切断せずに処理する。 ・浴光処理は種付前約30日間行い、処理中は床内が25℃を超えないようにし、途中3回程度いもを上下入れ替える。 ・種いも切断は種付数日前に、2～4つに縦切る(1片35g程度)。
耕耘・整地	耕耘・整地	12月～1月	堆肥散布機 トラクター	2	2	4	堆肥 1,000kg	堆肥の多用はそうか病多発を招くので注意する。
土壌消毒	薬剤処理 ガス抜き	12月～1月	土壌消毒機 トラクター	2	2	4	土壌消毒剤 古ビニール	土壌病害多発ほ場では計画的に土壌消毒を実施する。
施肥・耕耘		1月	トラクター	2	1.5	3	10a当たり成分 (条施肥の場合) N 22kg P ₂ O ₅ 18kg K ₂ O 14kg	※強酸性圃場では石灰質資材を補給する。
植付		1月～2月	植付け機	2	1.5	3	種いも	栽植密度:畦幅60cm× 株間20～25cm、 10a当り6,600～8,300株
中耕・培土		1月中～ 2月	管理機	1	1	1	鍬	軽く中耕し、15cm程度培土する。
除草	除草剤散布	2月	動力噴霧機	2	1	2	除草剤	マルチ前に除草剤を処理する。
マルチ		2月	マルチャー	2	2	4	ポリマルチ 鍬	マルチ被覆は降雨後の土壌に湿りがある時に行う。
芽出し	芽出し作業	3月		2	4	8	芽出し棒	出芽が始まったら、1～2日おきに見廻り、芽が焼けないようにポリフィルムを破って芽出しをする。
病虫害防除	薬剤散布	3月～5月	トラック 動力噴霧機 無人ヘリ・ ドローン (外部委託) 茎葉処理機	2	4	8	殺菌剤・殺虫剤	県病虫害防除基準に基づく適正防除。 ウイルス病、青枯病等の被害株は早期に抜取り処分する。
収穫	茎葉除去 マルチはぎ 収穫 調整(風乾)	5月～ 6月上	掘取機 ビッカー 運搬車 トラック	2	4	8	鍬・鎌 コンテナ	いもの皮むけや傷をつけないよう丁寧に行う。掘り取り後のいもは日陰で風乾。
出荷		5月～ 6月上	トラック	1	2	2	コンテナ	共同選果場で選別、出荷する。
後かたづけ		5月～6月	トラック	2	3	6	一輪車 コンテナ	茎葉、くずいもは病虫害の伝染源となるので片付け、処分する。
計						65		

3. 技術体系(レタス年内どり栽培)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(育苗)は種		8月中～ 9月上		2	9	18	コート種子 9,000粒 育苗培土 セルトレイ 128穴 70個	1穴に1粒ずつは種。 覆土はごく薄くして乾燥防止のため敷ワラ(新聞紙)をする。
管理	かん水	8月中～ 9月下		1	17	17	敷ワラ 寒冷紗	発芽後直ちに敷ワラ(新聞紙)を除去する。 下温対策として寒冷紗を被覆する。乾燥しないよう注意する。
病虫害防除		8月中～ 9月下	動力噴霧機	1	1	1		立枯病に注意する。 使用薬剤及び使用方法は県病虫害防除基準による。
(本ぼ)耕うん整地	耕起 整地	9月上～ 9月中	トラクター	1	6	6	堆肥 2,000kg 石灰質資材 100kg	深耕及び有機質の多用 酸性の矯正を行う。
施肥	基肥施用	9月中～ 9月下	トラクター	1	6	6	N 22kg P ₂ O ₅ 17kg K ₂ O 16kg	全量基肥
うね立てマルチ	マルチ被覆	9月中～ 9月下	管理機 マルチャー	2	5	10	ポリマルチ	マルチ被覆は土壤水分のある時に行う。
定植		9月中～ 10月上	トラック 移植機	2	2	4		栽植密度 うね幅 160cm×株間30(4条) 10a当り 8,300株 若苗(本葉3～4枚)を浅植えする。
かん水		9月中～ 11月	スプリンクラー	2	4	8		活着促進に1回20～30mm程度のかん水を行う。
病虫害防除	薬剤散布	9月中～ 11月	動力噴霧機 トラック	2	5	10		使用薬剤及び使用方法は、県病虫害防除基準による。
収穫出荷		10月下～ 12月下	運搬車 トラック	3	18	54	ダンボール 500個	8分結球で収穫する。 切り口を上にしてほ場で風乾する。(4～5時間) 風乾後切り口を塩水0.5%でふき、箱詰めする。
後かたづけ		10月下～ 1月上	トラック	2	3	6		
計						140		

3. 技術体系(レタス年明けどり栽培)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(育苗)は種		9月中～ 10月上		2	9	18	コート種子8,000粒 育苗培土 セルトレイ 128穴 70個	1穴に1粒ずつは種。 覆土はごく薄くして乾燥防止のため敷ワラ(新聞紙)をする。
管理	かん水	9月中～ 10月上		1	17	17	敷ワラ 寒冷紗	発芽後直ちに敷ワラ(新聞紙)を除去する。 乾燥防止と低温対策として寒冷紗を被覆する。 乾燥しないよう注意する。
病虫害防除		9月中～ 10月上	動力噴霧機	1	1	1		使用薬剤及び使用方法は県病虫害防除基準による。
(本ぼ)耕うん整地	耕起 整地	9月下～ 10月上	トラクター	1	6	6	堆肥 2,000kg 石灰質資材 100kg	深耕及び有機質の多用 酸性の矯正を行う。
施肥	基肥施用	10月中	トラクター	1	6	6	N 23kg P ₂ O ₅ 27kg K ₂ O 16kg	全量基肥
うね立てマルチ	マルチ被覆	10月中	管理機	2	5	10	ポリマルチ	マルチ被覆は土壌水分のある時に行う。
定植		10月中～ 10月下	トラック 移植機	2	2	4		栽植密度 うね幅 180cm×株間30cm(4条) 10a当り 7,400株 若苗(本葉3～4枚)を浅植えする。
かん水		10月中～ 1月下	スプリンクラー	1	8	8		活着期と生育最盛期に乾燥しないよう注意する。
トンネルまたはべたがけ被覆 温度管理	防霜対策	12月～ 3月中		2 1	18 18	36 18	トンネルビニール トンネル支柱 ハウスバンド バンド押え べたがけ資材	トンネル設置またはべたがけ被覆を行う。
病虫害防除	薬剤散布	9月中～ 11月	動力噴霧機 トラック	2	5	10		使用薬剤及び使用方法は、県病虫害防除基準による。
収穫 出荷		1月上～ 3月中	運搬車 トラック	3	18	54	ダンボール 500個	8分結球で収穫する。 切り口を上にしてほ場で風乾する。(4～5時間) 風乾後切り口を塩水0.5%でふき、箱詰めする。
後かたづけ		1月中～ 3月下	トラック	2	5	10		
計						198		

4. 品目の作付体系(○は種, ◡トンネル被覆, △定植, □収穫)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ばれいしょ 春作マルチ	△	~△			□							
レタス年内どり								○~	○△	△	□	
レタス年明けどり			□						○~○	△△	◡	□

5. 作業別・月別労働時間(10a当たり時間)

1)ばれいしよ春作マルチ

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計	
	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下		
種いも処理	6																							6	12	
植付準備	4		3																				4		11	
植付				3																					3	
培土・マルチング				5																					5	
芽出し					4	4																			8	
病害虫・雑草防除				2	2	2																			10	
収穫・調整					4	4																			8	
出荷					1	1																			2	
後かたづけ							3	3																	6	
計	4	6	3	3	7	0	4	4	2	2	2	2	0	5	5	0	3	3	0	0	0	0	0	0	6	65
月計	13							6		10															10	

2)レタス年内どり

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計	
	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下		
は種																									18	
育苗管理																6	6								18	
定植準備																3	3	3	3						22	
定植																4	8	10							4	
灌水管理																2	2								8	
病害虫防除																2	2	2	2	2	2	2	2	2	10	
収穫																16	16	16							48	
選別出荷																					2	2			6	
後かたづけ																						3	3		6	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9	13	11	19	11	2	2	20	20	140
月計	0															18		43		15					6	

3)レタス年明けどり

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計	
	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下		
は種																									18	
育苗管理																									18	
定植準備																									22	
定植																									4	
灌水管理																									8	
トンネル被覆																									36	
病害虫防除																									10	
保温管理	2	2	2	2	2	2																			18	
収穫																									48	
選別出荷																									6	
後かたづけ							5	5																	10	
計	2	2	2	2	2	2	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	10	14	18	19	9	4	2	14	198
月計	6						10											24		46					40	

6. 露地野菜専業経営Ⅲ 総労働時間

総労働時間	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計						
	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下							
総労働時間	112	128	104	824	856	800	112	112	16	216	216	16	0	40	40	0	180	180	260	620	940	800	400	400	620	572	608	11240			
うち家族労働	112	128	104	204	236	180	112	112	16	216	216	16	0	40	40	0	180	180	200	220	200	210	200	200	270	190	150	200	192	208	4580
うち雇用労働	0	0	0	620	620	620	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	400	400	740	590	200	290	290	420	380	400	6660		